教科横断的なESDの学び　ー絵本を活用してー

前　筑紫女学園大学教授　　稲田　八穂

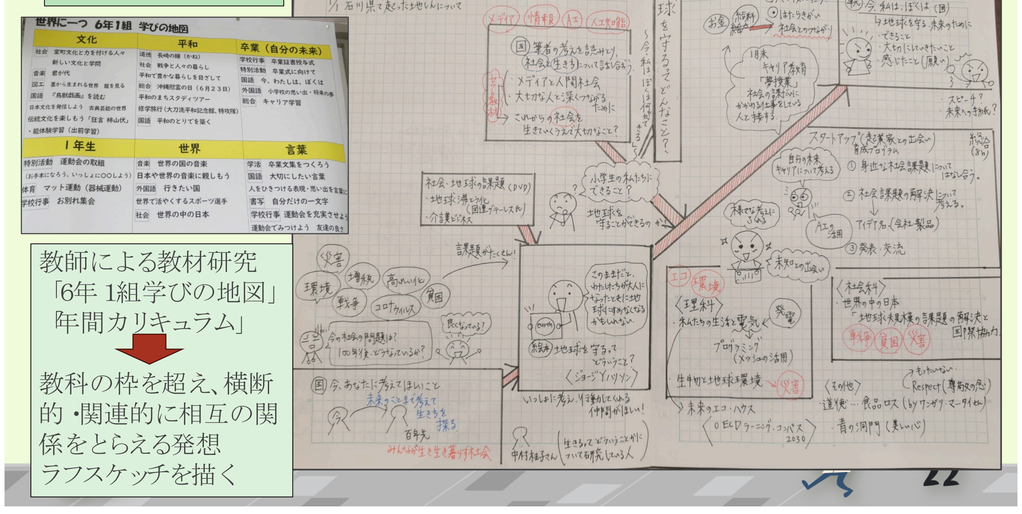
1 ESDの視点に立った教科横断的な学びの意義

「持続可能な社会づくりに関わる課題を見出し、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付ける」　⇒　持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観

カリキュラム・マネジメントの必要性
- ・教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立ていくこと
- ・教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ・教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

（文部科学省『カリキュラムマネジメントの充実」『小学校学習指導要領（平成２９年度告示）解説総則編』）

2 単元構想



教師による教材研究
「6年 1組学びの地図」
年間カリキュラム

教科の枠を超え、横断的・関連的に相互の関係をとらえる発想
ラフスケッチを描く

3 子どもと共に単元計画を立てる

1 興味・関心をもたせ、課題を発見する（導入）
　絵本『地球をまもるってどういうこと?』の読み聞かせ
　　⇒ ジョージの呼びかけ『いっしょにやろう」
2 単元を設計する（「概念型カリキュラム」）
　ステップ１：「単元名を決める」～ステップ１１：「単元の概要を書く」
　　（子どもとできるところをピックアップして取り組む）
　単元名：　「地球を守るためにできること　～ジョージの仲間になろう～」
　主題スキル：「地球を守るために自分ができることを考えて意見文を書き、ジョージに送る」
3 単元計画を考える
　他教科との関連を探す
　逆向き設計　ゴールから遡り、学習目標達成のための必要な活動を考える

思考する教室をつくる概念型カリキュラムの理論と実践（2020/9/24）H・リン・エリクソン、ロイス・A・ラニング、レイチェル・フレンチ、遠藤みゆき訳/北大路書房

4 単元計画

国語科の「今、あなたにかんがえてほしいこと」をきっかけに『地球をまもるってどんなこと?』を読み聞かせる。自分たちより幼い10歳の子どもの呼びかけに応える形で単元を教科横断的に計画した。

単元名　地球を守るためにできること ～ジョージの仲間になろう～

単元構想図

国語科　「今、あなたに考えてほしいこと」
絵本　地球を守るってどういうこと」

【国語科】　教材名）今、私は、ぼくは～
　　単元名）地球を守るためにできること～ジョージの仲間になろう～

教科等との関連

【理科】	【国語科】	【社会科】	【総合的な学習の時間】
単元　私たちの生活と電気」 単元　生物と地球環境」 ・電気を効率的に使う方法 （プログラミングとの関連）	【国語科】筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう 「メディアと人間社会」 「大切な人と深くつながるために」 ・これからの社会を生きていくうえで大切にしたいことについて、筆者の主張を基に考える。	【社会科】 単元　世界の中の日本」 ・地球規模の課題の解決と国際協力 ・絵本『見たっていないばあさんと考えよう 世界のこと」 ・絵本『カカ・ムラド～なかむらのおじさん～」	【総合的な学習の時間】 ・夢授業（キャリア教育）…職業人との交流 ・スタートアップ起業家育成 【道徳】 ・IPS 細胞の向こうに 【外国語科】

【国語科】 単元名）地球を守るためにできること～ジョージの仲間になろう～　（総時数 7時間）
1 各教科の学びを振り返り、地球を守るためにできることを話し合い、「環境」「平和」「情報」「災害」等の視点を整理する。
2 地球を守るために自分ができることを考え、内容を整理する。
3 意見文の構成を振り返り、メモを書く。
4 文章を書くための資料を集める。
5, 6 意見文を書く。
7 意見文の要点を発表し合い、感想を伝え合う。

ジョージの仲間になるという視点で各教科の学びを関連付け、学びのゴールを子どもが意識できるようにする。

【学びのゴール】 地球を守るために自分ができることを考えて意見文を書き、ジョージに送ろう。

5 絵本の活用

単元の導入

『地球をまもるってどんなこと? 小学生のわたしたちにできること』（2022/10/6）ジョージ Y ハリソン/KADOKAWA

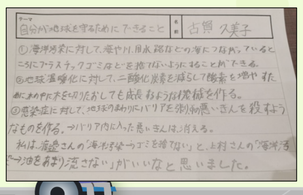
社会科の導入

『もったいないばあさんと 考えよう 世界のこと」（2008/7/5）真珠 まりこ/講談社

カカ・ムラド ナカムラのおじさん（2020/12/2）ガフワラ（著）、さだまさし 他（翻訳）/双葉社

総合的な学習の時間の資料

『絵本で学ぶSDGs』（別冊太陽）（2022/8/29）中川素子/平凡社



『もったいないばあさん』では水汲みをする子ども、難民、地雷など社会科につながるものが多く、その後中村哲さんに出会った。絵本を使うことで、世界の課題を自分事として受け止めることができた。絵本は考えをふくらませるのによい教材。教科書の写真資料より考えを引き出すことができた。（担任の感想）

SDGsが目指す17のゴールに沿って絵本を紹介。自分の課題解決に役立つ

6 情報のアンテナをはる

カリキュラム・デザイン　各教科等それぞれの題材や単元の構成について精通すること、発想や手法を持つこと」 佐笠(2017)「カリキュラム・マネジメントとは何か」『教育科学国語教育』no.826/明治図書）

精通、発想、手法のために ⇒ 教師は情報のアンテナをはって子どもたちに伝えることが必要

- ・「これって世界を変えちゃうんじゃない」高校生、大学生の新ビジネス「介護＆リサイクル」BSテレ東（2022. 9. 24）
- ・「防災のため、高校生がドローンを使って」FBS放送（2023. 12. 7）
- ・「沸騰する地球」タモリステーションKBC放送（2023. 12. 15）
- ・「アンパンマンの生みの親　やなせたかし」NHK放送（2023. 12. 21）
- ・「Ｕｎａｒｍｅｄ　武器を置く」TNC放送（2024. 1. 17）
- ・「インスタントハウス開発物語」Mr.サンデー/TNC放送（2024. 2. 4）

7　総合的な学習」人的又は物的な体制を確保する

少人数のグループで仕事の内容について聞く

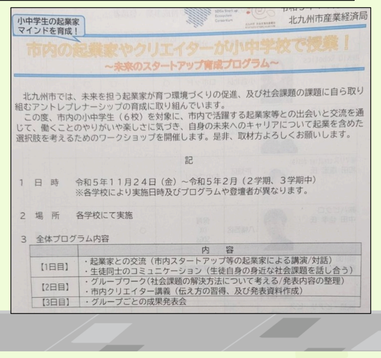
（1）夢授業（キャリア教育）・・・職業人との交流

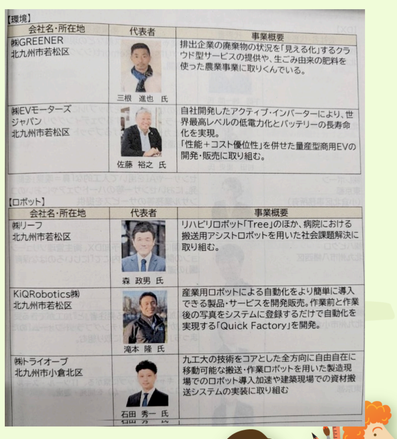
多種多様な地域の講師陣

（2）　スタートアップ起業家育成

① 事業の概要
社会の課題に自ら取り組むアントレプレナーシップ
　市内で活躍する起業家との出会いと交流
　働くことのやりがいや楽しさ
　自分の未来のキャリアについて考える

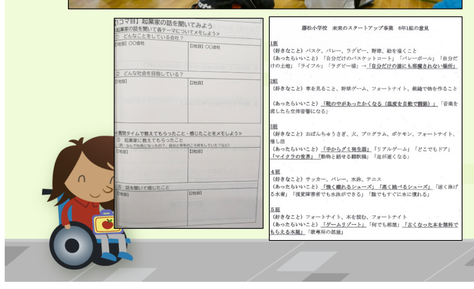
3コマというタイトなプログラムの中で話を聞き、課題をみつけ、解決し、発表する経験



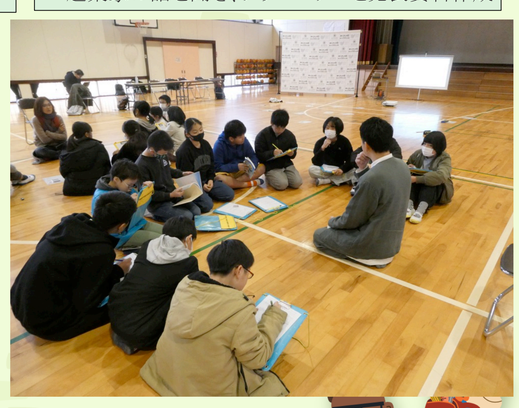


起業家の紹介一部

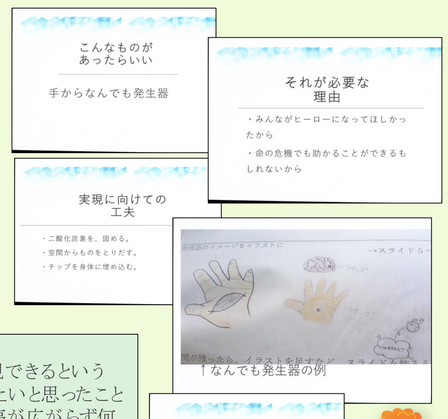
① 1コマめ
課題を持って全体で話を聞き、グループで対話



② 2コマめ
起業家の話を聞き、クリエーターと発表資料作成



③ 3コマめ
作成した資料を基に発表活動



↑なんでも発生器の例

【感想】
・自分でしたいと思ったら、どんなこともあきらめず頑張れば実現できるということがわかりました。ぼくが大事だと思ったことは夢、自分がしたいと思ったことに進んで取り組むということです。どうせできないと思ったら、夢が広がらず何でもあきらめてしまう。どんなに遠くはなれた夢であっても進んでいけばいつかできることを個の学習を通して学んだ。
・いろいろな起業家の話を聞いて、起業した人たちはみんなのためを思って作っているんだなあと思いました。ぼくもみんなのためを思ってできることをしていきたいです。

8 まとめ

○ 教科横断的な学びについて
- ・教科の狭い視野でなく、俯瞰的に学びをとらえることができる。
- ・それぞれの指導のねらいを絞ることが必要である。

○ 子どもと共に立てる単元計画について
- ・子ども自身が自分の学びを意識し、責任を持つことができる。
- ・子どもの思考を促すような準備と適切な助言が必要である。

○ 絵本を活用することについて
- ・子どもたちの興味・関心に働きかけ、課題意識を持たせることができる。
- ・活用の場と方法を考える必要がある。

○ 人的・又は物的な体制を確保することについて
- ・違う視点の方たちと子どもの成長や学びを見ることができる。
- ・人的資源については十分な打ち合わせが必要である。